



高齢者コロナワクチンに3億円

6月市議会4日開会 一般会計補正予算5億2433万円

鶴岡市議会6月定例会は、4日(火)から21日(金)まで開かれます。

上程される当局提案の議案は、令和6年度に繰り越した繰越計算書の報告4件、最終的な市債発行額の確定に伴う専決処分承認1件、補正予算3件、条例5件、事件3件の計16件です。

6年度一般会計補正予算は、5億2443万円を追加し、予算総額を754億4614万3千円とします

主な事業は、
○地域コミュニティ推進事業940万円は、(一財)自治総合センターの助成(宝くじ)決定に伴う遊具、備品整備等に係る補助金で、古郡(遊具)210万円、宝徳(エアコン)250万円、下山添(獅子舞衣裳)230万円、五十川(エアコン、テーブル)250万円が助成されま

○児童福祉総務管理費1006万1千円は、10月からの児童手当制度改正に係るシステム改修経費等です

○民間保育所等への各種補助事業165万円は、施設の扉や目隠し等の性被害防止対策設備等の設置に係る補助金です。

1施設10万円を対象に7万円を補助します(うち交付金5万円)。
○予防接種事業3億1842万9千円は、65歳以上の高齢者等に係

る新型コロナウイルスワクチン接種の助成経費です。
接種費用1万5300円に対し、国8300円、市単独3500円、7000円を助成します。

一般の人への新型コロナウイルスワクチン接種助成はありません。
○つるおか農業経営体支援事業2369万7千円は、国の農地利用効率化等支援事業補助金です。

○強い農業産地づくり支援事業9815万9千円は、
①国の産地生産基盤パワーアップ事業補助金656万7千円、
②国の麦・大豆生産技術向上事業補助金297万8千円、
③県の魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業補助金8861万4千円です。

○水利施設ストックマネジメント事業680万円は、県営水利施設等整備事業(月山山麓地区)に係る実施計画策定業務委託料です。

○観光地美化整備事業1050万円は、国の自然環境整備交付金による月山九合目公衆トイレの改修経費です。
○地域防災対策事業460万円は、(一財)自治総合センターの助成決定に伴う防災備品整備に係る補助金です。

○市単独災害復旧事業3500万円は、5月16日に発生した宝谷地区の市道「宮の下宝谷線」の法面崩落に係る復旧経費です。
○債務負担行為は、学校給食調理、配送等業務委託契1件を追加します。

○国民健康保険特別会計2063万1千円は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修経費です。
○下水道事業会計1700万円は、国の補助事業の採択に伴うコンポストペレット化の実証事業経費です。

▽5月21日、県漁港漁場協会通常総会に来賓として出席、議事を拝聴し、出席者と意見交換をおこないました。県内水産業(海面漁業)の状況と課題について理解を深める機会となりました。

産出額・就業者の縮小
▽1985年に58億8千万円だった本県の漁業産出額が、2021年には7割減の17億4千万円に、漁業就業者は2003年からの15年間で778人から368人と半分以下に急減。関係者の苦境に胸が痛みます。

コロナ禍の影響に加え、昨年はサケが6割減、ハタハタが9割減など気候変動の影響による水揚げ量減少等も要因の1つではあります。水産業の長期的衰退は農業同様全国的な状況であり、食料自給放棄の歴代自民党政府の経済・水産政策の結果に他なりません。

▽県は、栽培漁業や資源管理型漁業、フグ・カニ・サワラなどのよ

うなブランド化や、低利用魚の加工等の推進を図る様々な施策をおこなっていますが、昨年度からの新規独立漁業者に対する所得保障等は貴重です。本来は国の責任でおこなわれるべき事業です。

水産業振興の意義は大
▽水産業は、本県の豊かな食文化の土台であると共に、美しい生みを守り育てる役割も果たしています。私はこれまで、マグロの漁獲割り当てで沿岸漁業より大手企業

の大型巻き網船が優遇されている問題や、人材育成に無くてはならない加茂水産高校の実習設備の更新等々、関連施策を取り上げてきました。水産業を本県の宝と位置づけて今後も努力していきます。(真議 関 徹)

豊かな海と水産業は山形県の宝

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)

5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)



5月25日午前、横浜市の保育園と庄内産直センターが藤島地域八色木で田植え交流会を開催しました(記事2面)



5/22 応急工事完了後

サイエンスパークがもたらす効果を市がHPに公表

合計206億円支援、効果に疑問

サイエンスパークが鶴岡市にもたらす効果等について、山形銀行等による調査分析の概要が27日、市のHPに公表されました。

人口面での効果は、

先端研や8社のベンチャー企業の雇用が、2022年度で589人、うち市内在住者は473人の雇用を創出。

若年層の転入超過で、25〜34歳の層の人口移動が一貫して純増。

経済面での経済波及効果は、2019〜21年度の年間平均では、

41億600万円。

需要として、①事業活動による物的経費、②従業者・教職員・学生の消費、③施設整備費、④訪問者の消費の4つを想定。

前回の5年前（18年度）の経済波及効果（30億7700万円）と比べ、10億2900万円の増加。

サイエンスパークはまだ「発展段階」で、「成熟段階」に移行する過程で経済波及効果が拡大する可能性がある。



更なるクラスター成長のため、一貫した支援体制の構築や県内外企業との連携強化を図るべく、安定的な先端研の研究教育活動に対する継続支援、並びにハード・ソフト面の継続的な支援が

求められる。ーと報告しています。「消費可能性自治体」反転させる効果あるか

先端研開設（2001年）から現在までの支援は、

①開設のための施設整備に県28・7億円、市5・1億円、町村1・7億円の計35・5億円、

②基金造成に県19・3億円、市15・7億円の計35億円、

③研究教育補助金（第1期〜5期合計）に県70・4億円、市65・9億円の計136・3億円、

合計すると206・8億円と、多額の投資を行ってきました。

先端研には今後も毎年、県3・5億円と市3・5億円の補助金を支出し、スタッフは現在約150人で、うち約120人が庄内地方に在住しています（スタッフ1人当たり約467万円の投資に相当）。

（4/24）では、鶴岡市は、若年女性人口が50年までの30年間で50%以上減少する「消費可能性自治体」に該当していません。

見通しは、前回比較

横浜の保育園児が庄内の生産者と田植え

庄内産直センターが田植え交流会

農事組合法人庄内産直センター（小林隆範組合長理事）と、米産直でつながる横浜の保育園との26回目の田植え交流会が25日、藤島地域の八色木の石川和則さんの田んぼを会場に行われました。

苗場保育園、緑園なえは保育園の2園の園児37人、保護者・保育士25人と、庄内農民連・産直センターの組合員・職員約40人が参加しました。

園児一人ひとりと生産者がペアになり、一緒に鶴岡市I型（藤島型コシヒカリ）の田植えを行いました。

コロナ禍を経て昨年からは、再開された交流会

で1・3ポイント改善していますが、「消費可能性自治体」を反転させるまで、サイエンスパークが現実には効果を生み出すかは疑問符です。

る旅」です。

月山ネーチャーセンターでの散策などで、米が育つ庄内の自然環境を丸ごと体験してもらい、農業と保育との対話と交流を通じて、「食と命」をつなぐ取り組みで、保育園の父母らからも歓迎されています。

田植え交流会は6月1日〜2日に、他の横浜の2つの保育園が来訪し、朝日地域大綱で行われます。

共産党市議団の6月議会質問予定

鶴岡市HPからネットでも視聴できます ※開会時刻は10:00です。

6月4日（火）総括質問

■長谷川剛議員

- ①防災について
- ②庄内看護専門学校について
- ③観光について
- ④経済について



6月6日（木）一般質問（10:00頃予定）

■菅井巖議員

- ①公文書管理について
- ②終活支援について
- ③松くい虫被害の対応について



■坂本昌栄議員

- ①高齢者施設等でのマイナンバーカードの管理及び保険の廃止に伴う対応について
- ②地域包括支援センターについて
- ③都市計画道路苗津大山線の道路改良について



■加藤鉦一議員

- ①藤島地域の小中一貫教育について
- ②旧町村の開発事業について



■長谷川剛議員

- ①不登校児童生徒への支援について

土木課入札結果（ ）内は予定価格

5月23日入札分

- ・外内島高坂白山線ほか1路線調査測量及び道路詳細設計業務（高坂地内）（入札9業者）（有）佐藤測量設計事務所 9,300,000円（9,640,000円）期間～11/26（落札率96.47%）
- ・市道三和町遠賀原線（深井戸12号井）消雪施設調査業務（千石町地内）（入札5業者）日本地下水開発（株）3,380,000円（3,556,000円）期間～10/31（落札率95.05%）
- ・令和6年度区画線設置工事（鶴岡市本所・藤島・羽黒管内）（入札4業者）鶴岡交安（有）9,600,000円（9,910,000円）工期～8/30（落札率96.87%）